

新たな視点、発想をまちづくりに活かす！

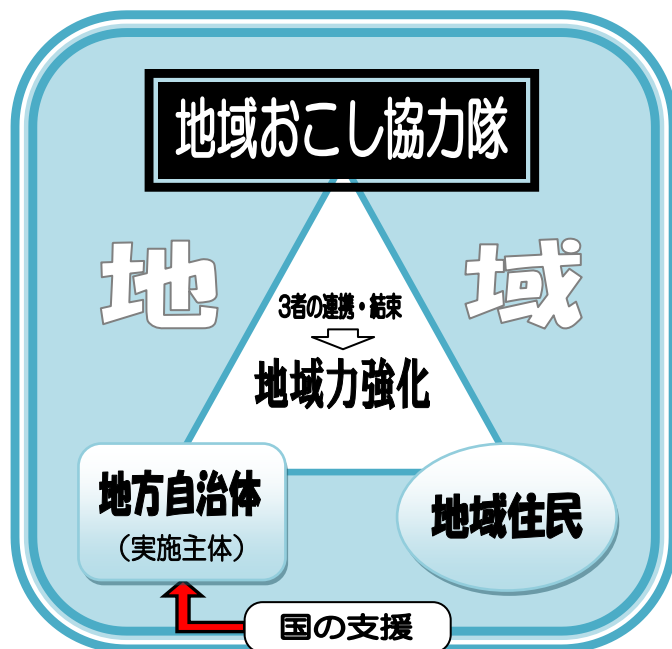
地域おこし協力隊

No. 1

新たな地域づくりを地域と共に考え展開する制度「地域おこし協力隊」が、平成 26 年 4 月から石狩市厚田区に導入することとなりました。今回はこの制度と仕組みについて紹介します。

Q1 地域おこし協力隊って何？

人口減少・高齢化等が進む地方で、全国の都市地域の人材を募集し、招き寄せ、定住・定着を図りながら、まちづくりの支援や住民の生活支援などに従事し、地域おこしに貢献することを目的とする取り組みです。



【国（総務省）の支援】

隊員の報酬、活動経費などは、国からの財政支援を受けます

【身 分】

石狩市非常勤職員として委嘱
※任用は1年（最長3年継続雇用可）

【採用の条件等】

都市地域の住民に限定され、任用後は厚田区内に居住、区内での起業・就業を目指します



【H24における全国の地域おこし協力隊 導入状況】

隊員数：617名（うち道内92名）

実施自治体数：207自治体（うち道内38市町村）

Q2 協力隊（外部人材）に期待されることは何？

にぎわい

地域行事・活動の担い手、協力

組 織

事務局業務の担い手

発 見

外の目で、地域の良さを発見する

地域維持

協働作業の担い手

課題解決

地域にはない技術・知識が活かされる

意識変化

「あきらめ」から「可能性の期待」に変化させる

移住・交流

外部で培ったネットワーク・感覚が活かされる

裏面もご覧下さい。

Q3 なぜ厚田区で導入するの？

【地域課題】

過疎化
高齢化
の進行

- 地域づくりの担い手不足 ●情報発信
- 活動人材の重複化 ●観光、産業の衰退

打開策

厚田区内では過疎化、高齢化が進み、人材不足や産業等の衰退など様々な課題がありますよね……

現 【地域住民】

市民と行政の協働による
取り組み

- ・厚田区地域協議会
- ・自治会、関係団体
- ・地域振興団体

新 【地域おこし協力隊員】

新しい視点、感性を活かした取り組み

- ・外部から見た魅力を引き出す
- ・新たな発想、展開の提案
- ・地域おこしの起爆剤

そんなとき、登場するのが「地域おこし協力隊」。協力隊は都市地域の経験、外部からの視点・発想を活かして、地域を知り、厚田ならではの活動を行っている地域の皆さんと手をつなぎ、共に活動することによって……

互いの持ち味を活かした
新たなまちづくりを展開

互いの持ち味を活かした新たなまちづくりの展開が期待されるため導入することとなりました。

Q4 採用人数、どんな活動をするの？

【採用人数】

厚田区では2名。（4月1日採用予定）

【想定される活動内容】

地域の皆さんと関わりながら、自由な発想で自主的に行う地域おこし活動の企画と実践が中心です。

- 地域行事（自治会、祭り）等コミュニティ活動
- 住民、地域団体と連携した地域振興活動
- 電子媒体等を活用した情報発信及び広報活動
- 地域資源発掘、観光資源を活用した地域活動の企画と実践 など



【問い合わせ先】

石狩市厚田支所 地域振興課 地域振興担当 TEL78-2012